

「誰か」ではなく「自分」から みんなで実践！ 両立しやすい職場づくり

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。



株式会社文蔵 (能代市)

業種/医療・福祉 従業員数/29名

(株)文蔵は、能代市でショートステイや有料老人ホームを運営し、系列の2社と連携しながら地域に欠かせない高齢者介護サービスを提供しています。

参観日の参加者：幼児2名

当日のスケジュール

14:00	集合
	参観日概要説明
14:10	お仕事体験
	バイタルチェック
	レクリエーション参加
	皆でU.S.A.
15:00	プレゼント贈呈



また来てくれたね

クリスマス間近の週末、久しぶりに施設を訪れた子どもたちに越前取締役やお母さんの同僚はにこやかにごあいさつをしてくれました。サンタ帽をかぶった招き猫にも迎えられて、参観日がはじまります！

記録までをお手伝い

1階では、看護師のお母さんのお手伝いで利用者さんのバイタルチェックをしました。血圧や体温を測り、紙に記録します。利用者さんのお名前を書く時には、見本のひらがなを周りから皆で探す場面もありました。



クリスマスのお歌を披露

2階ではレクリエーションのお手伝いで、利用者さんと一緒にボール遊びをしました。相手の反応をよく見ているところに、皆からは感心の声も。ボール遊びの後は、クリスマスのお歌を皆に披露しました。



皆でU.S.A!

お手伝いが終わると、1階に戻ってダンスの時間。ホールに響いた聞き覚えのあるこの曲は…?! そう、U.S.A.です！利用者さんは皆のダンスを手拍子で応援してくれました。最後に一仕事を終えた子どもたちへ、お礼のケーキが手渡されました。

保護者から

- ・家で仕事の話をするのはあまりありませんが、職場にたまに連れて来ることも。私が仕事をしているところを横で見たりしていますね。今日はお手伝いをしたり、皆で踊ったりして、楽しかったと話していましたよ。
- ・どんな仕事をしているか、子どもに聞かれることはよくあります。実際に仕事を見て子どもがどんな風を感じるか分かりませんが、楽しそうに利用者と交流していたと思います。

職場から

- ・従業員の子どもたちの出入りはこれまでもありました。よく施設に来る子どもたちには仲良しの人がいることもありますよ。
- ・参観日は、子どもたちにとって親がどんなところで働いているか知る機会であるとともに、従業員にとって互いの家庭を理解し助け合いを促すきっかけになるのでは。また、利用者にとっても、小さい子どもたちとふれあえるので、良い面があると思いますね。

